

平成28年6月

大野市教育委員会臨時会

会議録

日 時：平成28年6月30日（木）午後3時00分～4時50分

場 所：大野市役所 談話室

平成28年6月30日

大野市教育委員会6月臨時会

【大野市教育理念の唱和】

1. 開 会

会議録署名人 清水委員 妙願委員

2. 議 事

議案第23号 大野市文化会館整備基本構想策定委員会委員の選任について

3. 付議事項

1) 小中学校再編計画(案)

2. 大野市が目指す学校教育

1. 小中学校の現状

2) その他

- ・臨時教育委員会 7月14日(木) 午後3時から 談話室
- ・総合教育会議 7月21日(木) 午後3時から 談話室
- ・7月定例教育委員会 7月28日(木) 午後3時から 談話室

4. 閉 会

<出席者>

| | | |
|----------|-----------|-----------|
| | 委員長 | 洞 口 幸 夫 |
| | 職務代理者 | 清 水 美 那 子 |
| | 委 員 | 山 川 秀 |
| | 委 員 | 妙 願 貴 子 |
| | 委 員 | 松 田 公 二 |
| 事務局（説明者） | 教育長（再掲） | 松 田 公 二 |
| | 事務局長 | 小川 市右エ門 |
| | 教育総務課長 | 木戸口 正 和 |
| | 学校教育審議監 | 道 鎮 栄 一 |
| （書 記） | 教育総務課課長補佐 | 山 田 靖 子 |

【大野市教育理念の唱和】

【開会・点呼】

【委員長】定刻になりましたので、ただ今から、6月臨時教育委員会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

先日、市民総合体育大会が中止となりましたが、このところ毎日変わりやすい天気が続きます。

皆さん方には、お忙しいところご出席いただき、ご苦勞様でございます。

【会議録署名人】

【委員長】本日の会議録署名人は、清水委員さん、妙願委員さんのお二人にお願いすることにします。

【議 事】

【委員長】では、早速、2番目の議事に入ります。

議案第23号 大野市文化会館整備基本構想策定委員会委員の選任について、議題とします。

事務局の説明をお願いします。

【教育総務課長】議案第23号について説明します。

——<議案第23号説明>——

【委員長】ただいま議案を説明いただきました。人事案件ですので、質問のみお願いします。

【山川委員】三番目の委員さんは、どこの団体の方ですか。

【教育総務課長】大野市区長連合会から推薦されました地元、地元の区長さんです。

【清水委員】市民公募は何人ですか。

【教育総務課長】3人です。志望理由の作文も書いていただきました。

【委員長】初めから3人と決めていたのですか。

【教育総務課長】はい、広報おおのなどで3人を公募し、期限までに3人の方が応募さ

れました。締め切り後に1人の応募がありましたが、お断りしました。

【妙願委員】基本構想策定の日はいつですか。策定後には、委員会は解散ですか。

【教育総務課長】本年度内の策定を予定しています。委嘱状で委任期間を「構想策定の日まで」としています。

【委員長】他に質問はありませんか。

なければ、採決してよろしいですか。

——<異議なし>——

では、議案第23号 大野市文化会館整備基本構想策定委員会委員の選任について、承認してよろしいですか。

——<異議なし>——

それでは、議案第23号 大野市文化会館整備基本構想策定委員会委員の選任について、提案どおり承認することにします。

これで議事は終了しました。

次に、3番目の付議事項、一番目の小中学校再編計画（案）について、事務局の説明をお願いします。

【局長】では、小中学校再編計画（案）について説明します。まず、前回に配付しました「大野市が目指す学校教育」について、引き続きご意見をお聞きしたいと思います。

その後、「小中学校の現状について」資料をお示しし、議論いただきたいと思います。

——<資料説明>——

【委員長】ただ今、説明がありましたが、質問や意見はありませんか。

私は、いくつか気付いたことをまとめてきましたので、趣旨を説明します。

——<委員長、資料説明>——

一つには、「1「大野市教育理念」に基づく教育」の内容について。「進取の気象」と同様、「優しく 賢く たくましく」をどこかに入れたいと思いました。そこで、本文2行目「・・・普通のバックボーンとして、」の次に入れてはどうでしょうか。

また、この項目の下から3行、「常に、教育の不易と・・・進めます。」を次の「2学校教育ビジョン」7つの項目の前文としてはどうでしょうか。

二つ目には、「2 学校教育ビジョンの（2）新しい時代に対応した教育の展開」についてですが、ここに基礎、基本という文言が入らないかということです。

大野らしさを表現するという考えならそれでいいですが、公共教育は「基礎、基本」又は「確かな学力」をないがしろにできないと思います。この2点を伝えたいと思

ました。

その他には、「(6)「生き抜く力」育む学校空間づくり」の項の文末「魅力的な空間を取り入れます。」を「魅力的な環境に整え、生き抜く力を育みます。」としたほうがいいのではないですか。

委員の皆さんのご意見は、いかがですか。

【清水意員】 8頁に「確かな学力」という文言がありますが、それではだめですか。

【教育総務課課長補佐】 前回のご指摘を受けて、7頁(3)の項目の朱書きの部分に、「基礎的・基本的な内容の習得はもちろん」という文を追加しています。

【教育長】 委員長のご指摘については、私も「ふるさと教育」が先で次に「進取の気象」を入れたほうが良いと思うので、今の提案で良いと思います。

そう考えますと、6頁から8頁の7つの教育ビジョンについても、「(3)一人一人を大切にしたい学び合いの充実」を「(2)新しい時代に対応した教育の展開」より先に持ってくるべきでないかと思いました。そのほうが、委員長さんの思いや全体の流れからもスムーズだと考えます。

ただ、(1)のふるさと教育は一番最初に置かせていただきたいと思います。皆さんのご意見はいかがでしょうか。

【委員長】 (2)と(3)を逆にするという教育長のご提案も分かります。また、(2)(3)となっている思いも分かります。こうしていきたいという部分も加えられていることもよく分かります。

【教育長】 この計画は、市民目線を大切に作成したいと考えています。そのため、具体的に書いたほうが分かり易いと考えこのように書きましたが、委員長のご提案も入れさせていただきます。

「優しく 賢く たくましく」を入れることは、ありがたいと思います。

教育ビジョンの前文として書くという委員長のご提案はありがたく、採用させていただきたいと思います。

【委員長】 ここで決めるのではなく、事務局のほうで十分検討してください。

他に意見はありませんか。

7頁「(3)一人一人を大切にしたい学び合いの充実」の項目の最後の段落で、「・・・種目、演目を取り入れ」を「・・・種目、演目や活動等を取り入れ」としてはどうですか。

【教育長】 そのようにします。また、その前の「・・・体育祭や文化祭には」という部

分も「・・・体育大会や文化祭、集会活動などでは」に修正したいと思います。

【委員長】他に質問はありませんか。

先ほど、8頁「(6)「生き抜く力」を育む学校空間づくり」の項目で、空間という言葉がたくさん使われています。「魅力的な環境に整え、生き抜く力を育みます。」と締めくくる提案をさせていただきましたが、皆様のご意見はいかがでしょうか。

【妙願委員】委員長のご提案はいいと思うのですが、1～2行目の「・・・環境を整えます」と表現が重なります。

【委員長】1～2行目を取ってはどうですか。どちらがいいか考えて下さい。

【清水委員】1～2行目の文章はやわらかい、あったほうがいいのではないですか。

【山川委員】1～2行目の「・・・環境を整えます」を使わず、言い回しを変えたらどうですか。例えば、「学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす安全で快適な学習・生活の場であります。」としてはどうですか。

【委員長】言葉がダブらないように工夫して下さい。

(3)の項目に「基礎的・基本的な内容の習得はもちろん」という言葉を入れていただいたことは、納得しました。

それでは、次に、本日晒された資料、2頁～5頁の協議に移ります。

事務局の説明をお願いします。

【局長】読んで、説明に代えさせていただきます。

【委員長】今ほど説明いただきましたが、意見はありませんか。

【妙願委員】この計画は、誰を対象としていますか。

【局長】一般市民です。

【妙願委員】2頁の表1で、児童数、生徒数という記載がありますが、児童数を小学生数、生徒数を中学生数と、一般市民は区別がつくのかと心配したところです。

【教育総務課課長補佐】2頁の本文の冒頭に、児童数(小学生数)、生徒数(中学生数)と書いています。表1にも同じように括弧書きで記載します。

【清水委員】一般の人は、「小学校は先の話、中学校は3年後に2校になる。」と思っています。今回のこの計画(案)では、中学校が1校になります。地区の説明会では、より丁寧に、説明しないといけない、そういう気がします。1校新築して、その3年後に2校新築する、市民に理解を頂かないといけないと思います。

【山川委員】2頁、本文7行目「平成42年の・・・」の前に「14年後の」と記載したほうがわかりやすいと思います。

また、5頁最後の段落、熊本地震については、被害を受けた校舎の実数が分かれば、記載したほうがいいと思います。

【教育総務課課長補佐】実数は現在調査中です。

【妙願委員】5頁の最後の段落、「・・・確保する必要があります。」ではなくて、「・・・しなければならない。」と締めくくるべきではありませんか。

【委員長】「耐震性を」でなく「安全性を」のほうがいいと思います。この文章は、全体の構成の中で、ちょっと引っかけます。

【教育長】全体のイメージが分かるように、計画案の「目次」をお示しします。

——<「目次」配付>——

【教育総務課長補佐】14日の臨時教育委員会の前には、計画（案）全部を送付させていただきます。

【清水委員】資料として、「素案」は付けないのですか。

【局長】出しません。

【教育長】学校教育審議会にどう報告するか、敬意を表さなければなりません。計画（案）の公表の際、対応を忘れてはいけません。また、タイミングを間違えないこと、お願いします。

【清水委員】議会の委員会で「会議録を見ると、教育委員の発言が少ない」という発言があったので、勉強して発言しないといけないので、資料はなるべく早めに送付して下さい。

【教育長】それは、教育委員会事務局が定期的に情報提供していく必要があるという意味です。委員の皆さんには、定例会のほかに学校訪問や、公民館訪問などで多くご意見をいただいています。総務文教常任委員会で言われたことは、事務局では、積極的に会議録を見ていただけるようになったということで発展的に捉えています。

【委員長】そのほかに、何かありませんか。

なければ、以上で、6月臨時教育委員会を終了します。どうもご苦労様でした。

午後4時50分終了

平成28年7月28日

(清水委員)

(妙願意員)